

Jトラスト

収益改善が鮮明に

国内金融事業^など順調

東南アジアや国内で金融

事業を展開するJトラスト

(8508・2部)の収益

改善が鮮明になっている。

2017年3月期の第1

四半期(4―6月)決算は、

営業収益が205億円(前

年同期比5%増)と四半期

ベースでは過去最高になる

とともに、営業利益は11億

8900万円(前年同期は

19億円強の赤字)と30億円

強改善した。

国内金融事業は順調。信

用保証業務は賃貸住宅ロー

ン保証業務を中心と順調に

保証残高を伸ばしている。

第1四半期末の債務保証残

高570億円(前年同期比

48%増)となった。債権回

収事業についても、請求債

権残高は大幅に増加してい

る。

韓国金融事業は為替換算

レートの影響を受けて減収

となったものの、実力値を

表す韓国現地会計基準では

営業収益、営業利益ともに

堅調。月間の新規貸付金額

は過去最高額を更新中。3

カ月間の平均は1708億

ウォと前年同期に比べて約2

倍になって
いる。

東南アジ

アについて

はインドネ

シアにおい

て、Jトラ

ストインドネシア銀行が銀

行業務を行っている。営業

部隊の強化により営業資産

の積み上げが実現し、営業

利益は改善基調にある。事

業基盤の強化策としてAS

EAN(東南アジア諸国連

合) 諸国で農機具などの販

売金融事業を行うグループ

リース社との協業を7月に

開始。順調に契約を獲得し

ている。

通期業績については、売

上高982億円(前期比30

%増)、営業利益112億

6600万円(前年同期は

自社株買いを機動的に実施

41億円強の赤字」という計
画の達成を目指す。

配当については、前期は

記念配2円を含めて年12円

を実施したが、今期も引き

続き年12円を予定している。

なお、資本効率の向上を

目的とした自社株買いを機

動的に実施している。今年

8月15日(取得株数600

万株)、16日(同318万

8300株)と2日連続で

自社株買いを行った。

一方、ビットコイン取引

所「J-Bits」を6月

にスタートさせるなど、新

たな取り組みを行っている。

スマートフォン対応の

ネイティブアプリを業界で

初めて導入。ビットコイン

トレーダーから「最も取引

に適したアプリ」との評価

を得ている。